

授業科目 身体障害作業療法学実習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
濱口豊太、能登真一、今井潤、土田尚美		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【一般目標：G I O】					
身体障害の治療と生活支援の手技・手段を身につける。					
【行動目標：S B O】					
1. 評価実習における問題点が理解でき、対処法を整理できる。					
2. 身体機能回復・代償の方法についてまとめることができる。					
3. 与えられた症例の一般情報と作業療法評価の結果から治療計画を立案できる。					
4. 3の治療計画に基づいてシミュレーション治療を試みる。					

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は担当教員
1	中枢神経障害による運動機能障害	1	演習、濱口
2	中枢神経障害による運動機能障害の治療手技	2	演習、濱口
3	中枢神経障害による生活機能障害	3	演習、濱口
4	脳血管障害の生活機能と利き手交換：脳出血、くも膜下出血、脳梗塞	3	演習、濱口
5	脳血管障害の治療計画（回復期リハビリテーションの実際）	4	講義、今井
6	非外傷性脊髄損傷の機能回復・代償：多発性硬化症、脊髄炎、脊髄血管障害	4	演習、濱口
7	末梢神経障害の臨床	4	実習、土田
8	手の外科の臨床（1）	4	実習、土田
9	手の外科の臨床（2）	4	実習、土田
10	神経変性疾患の評価計画	4	演習、濱口
11	神経変性疾患の治療計画	4	演習、濱口
12	神経変性疾患の生活機能	4	演習、濱口
13	呼吸器疾患・循環器疾患の機能回復・代償	4	実習、能登
14	内部障害・熱傷の機能回復・代償	4	実習、能登

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	身体機能作業療法学	岩崎テル子編	医学書院	2005年
参考書	①作業—その治療的応用、日本作業療法士協会、 ②図解：作業療法技術ガイド、石川斎、古川宏編、		協同医書出版社、 文光堂、	1985、8500円 最新版、7000円
その他の資料				
【評価方法】	【履修上の留意点】			
出席点：10％ 期末試験：レポート提出30％、筆記60％				